

## ＜平成 28 年度重点施策＞

小樽市総合戦略に掲げる将来都市像の実現に向け、本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 (括弧内の金額は予算現額)】(\*印は27年度からの繰越事業)

### 1 あずましい暮らしプロジェクト

① バリアフリー基本構想策定事業費 3,622千円(3,654千円)  
JR南小樽駅及び周辺の面的、一体的なバリアフリー化を促進するための構想を策定

☆② 移住促進事業経費\* 1,420千円(1,500千円)  
ワンストップ窓口で移住相談に対応したほか、首都圏の移住フェア出展や移住起業希望者向けの体験ツアー、移住者と市長のフリートーキングを実施

③ 商業起業者定住促進事業費 2,058千円(2,058千円)  
商店街等の空き店舗解消と本市への移住・定住促進を目的に、新規商業起業者の研修費用と店舗家賃の一部を助成

④ 既存街路防犯灯LED化推進事業費 117,251千円(135,881千円)  
既存街路防犯灯の老朽化や電気料金の値上がりに伴う町会等設置者の負担を軽減するため、既存の水銀灯、白熱灯、蛍光灯をLED灯に改良する場合などに助成金を交付

〔実施期間〕平成27～29年度

〔助成対象〕①LED灯に改良 ②既存灯具又は既存灯具及び支柱の撤去  
(同一の街路防犯灯について、①又は②のどちらかを申請)

〔助成率〕 90% (電力会社申請入力電力などの内容により上限額あり)

☆⑤ 空き家対策事業費 2,630千円(3,163千円)  
市内で増加している空き家に対応するため、今後の指針となる「空家等対策計画」を策定するほか、「空家実態調査」の結果に基づき所有者調査を実施

◎⑥ 住宅エコリフォーム助成事業費 648千円(5,100千円)  
環境負荷の低減及び空き家の有効活用を図るため、下記の省エネ改修工事実施費用の一部を助成

〔対象工事〕断熱改修工事、省エネ型設備機器設置

※対象となる工事費用の合計が500千円以上

〔助成額〕助成対象工事費の1/10(限度額300千円)

※助成対象工事費は、対象となる工事の見積額と市が定める基準工事費のいずれか少ない額の合計

⑦ 市営住宅改善事業費 252,386千円(322,800千円)  
(うち80,169千円(89,200千円)は平成27年度から繰越)

(予算現額のうち41,200千円は平成29年度へ繰越)

「小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に改修

・長寿命化型改善(祝津住宅1～4号棟) 172,217千円(192,400千円)

外壁等改修

・長寿命化型改善(最上A2、A49改良)\* 80,169千円(89,200千円)

屋根・外壁等改修

◎⑧ 公営住宅建替事業費(若竹住宅3号棟) 184,095千円(212,500千円)  
(債務負担平成29年度45,600千円)

建替工事の実施に向けた区分所有者等の移転補償、建替えに係る地質調査・実施設計委託、建物解体工事(平成28～29年度実施(債務負担))

## 2 樽っ子プライド育成プロジェクト

☆① こども医療費助成(旧乳幼児等医療費助成) 138,160千円(172,707千円)  
(道の施策分111,957千円(135,995千円) 市の施策分26,203千円(36,712千円))

※乳幼児等医療費助成4～7月、こども医療費助成8月～

北海道の制度に基づき、こどもの医療費の自己負担分の一部を助成。平成28年8月から、市の単独事業として小学生の入院外も助成対象に拡大

〔自己負担〕非課税世帯：初診時一部負担金のみ

課税世帯：1割負担

② ファミリーサポートセンター事業費 6,110千円(6,224千円)

地域の中で助け合いながら子育てをする会員制の援助活動事業をNPO法人に委託して実施

③ 地域子育て支援センター事業費 6,185千円(7,667千円)

保育士が遊びや親子の交流の場を提供するほか、町内会館に出向いて楽しい遊びの広場を開催

④ ICT教育促進事業費 9,404千円(10,000千円)

小学3年生以下の教室にデジタルテレビを整備

⑤ 音読推進経費 216千円(240千円)

全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進。「音読カップ(発表会)」や「小樽こどもの詩コンクール」を開催

⑥ 「樽っ子学校サポート」関係経費 210千円(210千円)

児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を目指すため、小樽商科大学に在籍する学生及び市内在住の大学生を小中学校へ派遣し学習を支援するほ

か、夏休み・冬休みにおいては、市内の高校に在籍する生徒の派遣も実施

⑦ 教育支援活動推進事業費 1,859千円(2,100千円)

学校・家庭・地域が連携して教育に取り組むため、学校及び家庭教育における地域の支援体制づくりを実施

・「学校支援ボランティア」による授業補助や読み聞かせ等の学校支援

・「小樽わくわく共育ネットワーク」による家庭教育講座等の実施

⑧ 「小樽イングリッシュキャンプ」関係経費\* 149千円(150千円)

市内小中学生の国際感覚をはぐくむため、外国人との活動や宿泊生活、外国人観光客への観光案内など「英語漬け」の時間(1泊2日)を過ごすプログラムを実施

◎⑨ 小学校英語教育推進事業費\* 306千円(306千円)

平成32年度からの小3英語教育導入を見据え「小学校英語教育推進校」2校を指定し、小学校3、4年生の総合的な学習の時間に外部講師を派遣し、国際理解教育や英語教育等を実施

☆⑩ 語学指導等外国青年招致事業費 15,110千円(16,164千円)

外国人指導助手(ALT)を市内各中学校に派遣。平成28年度はALTを2名から4名に増員し、中学校4校を「英語教育推進校」に指定し重点的に派遣するほか、小学校の外国語活動・総合的な学習の時間等を支援するため派遣

⑪ 高校生就職スキルアップ支援事業費 2,600千円(2,600千円)

主に高校1、2年生を対象に、市内企業への就職率向上を図るため就職活動の実践力向上事業を実施

⑫ 女性・若年者の地元定着を目指した人材育成事業費  
14,681千円(15,000千円)  
女性・若年者の正規雇用による地元定着を目的に、就業体験と講義を組み合わせた実践的な人材育成を実施

◎⑬ 男女共同参画基本計画市民意識調査経費 331千円(400千円)  
第2次小樽市男女共同参画基本計画における各施策の進行状況について市民意識調査を実施

### 3 にぎわい再生プロジェクト

◎① ふるさと納税関係経費 5,963千円(11,153千円)  
まちづくり施策への賛同者の増加と地域経済の活性化を図るため、一定額以上の寄附者に対して本市特産品を送付

② 小樽港クルーズ推進事業費 8,855千円(12,887千円)  
市や国などの行政機関と民間で構成される小樽港クルーズ推進協議会による誘致活動や、寄港に対応するための受入体制を強化

③ 小樽港物流促進プロジェクト事業費 1,300千円(1,300千円)  
小樽港の物流促進のため、ロシア・サハリン州の企業訪問や市場調査のほか、小樽市内で貿易セミナーの開催、関東・関西エリアにおけるポートセールスを実施

◎④ 北海道新幹線開業効果を生かした誘客促進事業費 467千円(650千円)  
「北海道うまいもんサミット」(函館市)、「北海道新幹線開業 PR キャラバン隊」(東北新幹線主要駅)への参画による北関東・東北に向けたPRのほか、北海道情報誌に小樽の魅力を掲載し、全国に向けたPRを実施

⑤ 国内外観光客誘致実行委員会補助金 2,500千円(2,500千円)  
国際旅行博出展による海外プロモーション活動のほか、国内外旅行会社等の担当者招請事業、道内各地における観光キャンペーン、旅行会社訪問事業を実施

☆⑥ 観光案内所運営費交付金 9,170千円(9,170千円)  
JR小樽駅及び浅草橋街園の観光案内所のほか、海外観光客にも対応するため、平成28年度からJR小樽駅改札口付近に窓口を新設

☆⑦ 小樽国際インフォメーションセンター運営費交付金 13,400千円(13,400千円)  
外国語通訳(英語、中国語、韓国語)を運河プラザに配置するとともに、平成28年度新設のJR小樽駅改札口付近の窓口配置する外国語通訳を1名増員し、海外観光客のニーズに対応する総合窓口を運営

⑧ 外国語通訳配置支援事業費補助金 2,800千円(2,800千円)  
堺町通りの地元商店街が運営する観光案内所に通訳(英語・韓国語)を配置

⑨ 東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金 2,500千円(2,500千円)  
新千歳空港との直行便が就航したマレーシア旅行博出展をはじめとするアジア圏へのプロモーションや、MICE誘致に向けて各国の旅行代理店担当者・メディア関係者等の招請事業を実施

⑩ 宿泊客誘致事業費補助金 1,910千円(2,000千円)  
企業の福利厚生会報誌等に本市観光の紹介や市内宿泊施設の広告を掲載し、観光閑散期(11~2月)の宿泊客増加を図るための誘客キャンペーンを実施

- ◎⑪ 修学旅行ガイドブック作成費補助金 1,300千円(1,300千円)  
修学旅行誘致活動に使用するガイドブック作成費を小樽市教育旅行誘致実行委員会に補助
- ⑫ まちなか観光にぎわいづくり調査事業費 3,974千円(4,000千円)  
観光施設・店舗・動線などの調査及び外国人観光客の動態調査を実施
- ⑬ 創業支援事業費 9,029千円(21,500千円)  
市内で新たに創業する方に対し、創業にかかる経費の一部を補助  
・事務所等家賃補助 ・内外装工事費補助 ・利子補給
- ⑭ 地場産品導入促進事業費 1,826千円(2,000千円)  
地域資源であるガラスの周知と活用促進を図るため、市内小学生の卒業記念としてガラス製品の制作体験を行う費用を助成
- ⑮ 技術開発促進事業費 344千円(500千円)  
市内の中小企業等が開発した技術・製品のうち特に優れたものを表彰し、開発費用の一部を助成するとともに受賞技術・製品を展示会に出展
- ⑯ ものづくり市場開拓支援事業費 650千円(660千円)  
道内最大規模の展示会に小樽商科大学や北海道職業能力開発大学校とともに産学官連携のブースを出展し、市内ものづくり企業の製品等をPRすることにより商談機会を創出
- ⑰ 海外販路拡大支援事業費 1,952千円(2,000千円)  
海外への販路拡大を目的とした商談会・展示会等への参加費用を補助するほか、札幌市等との連携事業による海外商談会・展示会へ参加
- ⑱ 「小樽産品」販路拡大支援事業費 3,607千円(3,900千円)  
市内食料品製造業者の北海道外への販路を拡大するため、道外でも通用する商品開発力や商談スキルの向上を図る相談会を実施した上で、首都圏で開催される大規模展示商談会に出展
- ⑲ 小樽産品商品力・販売力向上事業費 8,497千円(8,497千円)  
食品関連企業の商品開発力と販売力向上のため、企業向けのワークショップや販売実践会を行うとともに、高付加価値商品の開発やレシピ作成、商品特性に応じた販路開拓などを実施
- ⑳ 水産物ブランド化推進事業費 2,976千円(3,000千円)  
・小樽の水産加工品のブランド化や消費拡大を図るため「第2回小樽水産加工グランプリ」の開催、受賞商品のPRや商談会出展などへの支援を実施  
・小樽の地魚や水産加工品をホームページ等での情報発信、市内の市場・飲食店・イベントとの連携によるPRや道外の小樽物産展でのPR活動及び魚食普及の親子料理教室への支援を実施
- ㉑ 企業誘致促進事業費 2,261千円(2,500千円)  
札幌圏における設備投資動向調査の実施、工場等の移転を検討している三大都市圏や札幌圏の企業への訪問、道外で開催される産業展や企業立地セミナーへ出展による誘致活動を実施
- ㉒ 公衆無線LAN通信環境整備事業費補助金 560千円(560千円)  
国内外観光客の通信利便性の向上を図るための環境整備に係る費用の一部を助成  
〔助成対象〕観光関連団体、商店街振興組合が国の補助金等を活用して実施す通信環境整備事業  
〔助成額〕国の補助対象経費のうち自己負担額の1/2以内  
(上限額1,000千円)

② 歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金  
8,732 千円(15,000 千円)

景観条例に基づき登録している歴史的建造物のうち、民間が所有する建物の外観に係る補修費の一部を助成

〔助成額〕歴史的建造物の外観保全に必要な経費の 1/3 以内(限度額 指定歴史的建造物 6,000 千円、登録歴史的建造物 3,000 千円)  
・平成 28 年度助成件数：3 件

◎④ 歴史文化基本構想策定事業費 1,067 千円(1,500 千円)

まちづくりと文化財保存の両立を図るために、本市の文化財及び周辺環境を保存・活用する基本方針となる「小樽市歴史文化基本構想」の策定に向けたシンポジウム、ワークショップ等を実施

⑤ 明日の小樽を支える観光イノベーション事業費 21,448 千円(22,769 千円)

・小樽版DMO事務所整備事業費 7,741 千円(7,769 千円)

・小樽版DMO環境整備事業費 3,900 千円(5,000 千円)

新たな小樽観光の推進体制として、官民が連携した組織「小樽版DMO」の設立を目指し、事務所整備、先進地調査、関係者向けセミナー等を実施

・歴史的資源の観光資源化事業費 5,379 千円(5,400 千円)

歴史的建造物や産業遺産などを観光資源として、より深く活用するための方策を調査・検討

・「夜のまち歩き」実証実験事業費 4,428 千円(4,600 千円)

夜の小樽観光活性化を図る取組として、個人旅行の観光客を対象にした歴史的建造物などを巡るツアーによる実証実験を実施

合同で特産品や観光スポットなどの情報発信事業を実施

② 防災関係経費(避難所機能強化事業) 4,988 千円(6,300 千円)

避難所ストーブ、組み立て式簡易トイレなど防寒・トイレ対策に係る備蓄品の整備と備蓄食料の更新

☆③ 健康診査等事業費(各種がん検診費) 47,183 千円(51,000 千円)

勤務先や加入する健康保険で検診を受ける機会のない方(自営業者、主婦、高齢者等)で40歳以上の市民を対象とした4種のがん検診と、20歳以上の女性を対象とした子宮頸がん検診を実施。平成28年度から、受診率向上のため、北海道対がん協会の検診バスなどで実施していた胃がん検診を市内4医療機関へも委託し拡大

☆④ 地域包括支援センター運営事業費 140,000 千円(140,000 千円)

「地域包括ケア」を実現するための中核機関として4か所に設置している地域包括支援センターの運営を委託。平成27年度介護保険制度改正に伴う、認知症施策の推進などについて、平成30年度実施予定を前倒しして実施するため、各包括支援センターの専門職1名を増員

## 4 あんしん絆再生プロジェクト

① 定住自立圏構想推進経費 609 千円(850 千円)

「第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域6市町村が

## <平成 28 年度主要施策等一覧>

第 6 次小樽市総合計画の「まちづくり 5 つのテーマ」等に基づき本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 (括弧内の金額は予算現額)】(\*印は27年度からの繰越事業)

※「平成28年度重点施策」とした取組は掲載していません。

### A【まちづくり 5 つのテーマ】

#### 1 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）

☆① スクールカウンセラー関係経費 1,480千円(1,545千円)

専門的な知識を有するカウンセラーを配置し、児童生徒や教師、保護者にカウンセリング等を実施。平成28年度は、閉校に伴い統合する小学校の児童等に対する教育相談のため1名を増員配置

② 校舎等改築事業費（手宮中央小学校、山手地区統合小学校、朝里中学校）  
939,565千円(993,029千円)

・手宮中央小学校 247,066千円(262,825千円)  
H25～H27 校舎建設、屋内運動場建設、H28 開校、グラウンド整備

・山手地区統合小学校 587,198千円(622,280千円)  
H26 実施設計、H27 敷地造成工事、H28～H29 校舎・屋内運動場建設  
H29 グラウンド整備、H30 開校

・朝里中学校(木造・コンクリートブロック校舎部分)  
105,301千円(107,924千円)

H27 実施設計、地質調査、H28 校舎改築

③ 校舎等大規模改造事業費(北陵中学校) 455,536千円(506,820千円)

北陵中学校開校のため、旧手宮西小学校の校舎・屋内運動場を改修

H27 実施設計、H28 大規模改造工事、H29 開校

◎④ ふるさと教育推進事業費 245千円(250千円)

子ども達の郷土愛や社会貢献の実践力を育むため、学校等を拠点に地域伝統文化を学ぶ伝承活動の取組を実施

・潮見台小学校：松前神楽

・高島小学校：向井流水法

・北山中学校、末広中学校：高島越後踊り

⑤ 放課後児童健全育成事業費ほか 158,695千円(182,352千円)

放課後児童クラブの開設（小学校内17か所、勤労女性センター、塩谷児童センター）

◎⑥ 不登校児童生徒支援事業費 2,031千円(2,378千円)

不登校児童生徒に対し、家庭訪問等を通じた学習支援や教育相談を行うため、支援員1名を新たに配置

◎⑦ 市立小樽図書館創立100周年記念事業費 783千円(800千円)

市立小樽図書館創立100年を記念し、イメージキャラクター募集や記念講演会、「100年のあゆみ展」などを開催

⑧ 特別展開催経費（文学館） 192千円(200千円)

小樽生まれの小説家・早川三代治について、近年新発見された原稿などを元に特別展を開催

・「早川三代治展」（平成28年5月21日～7月24日）

⑨ 特別展開催経費（美術館） 2,832千円(3,000千円)

I) 「木版の夢ー小樽に版画の種を蒔く」（平成28年4月23日～7月3日）

木版の巨匠・棟方志功ら昭和初期に小樽で交錯した5人の版画家の作品を紹介

II) 「おたる潮まつり50周年記念・まつり写真展」（平成28年7月9日～9月18日）

潮まつり50年にちなみ、まつりの一瞬を切り取った写真家の作品などを展示

- Ⅲ) 「藤倉英幸 貼り絵・北海道63景～静かな風を聴きながら～」  
(平成28年10月29日～12月25日)  
北海道に根ざした作家、藤倉英幸の貼り絵作品を中心に展覧

- ◎⑩ 潮見台シャンツェ整備事業費 23,879千円(24,000千円)  
ジャンプ少年団員やジャンプ大会参加者の安全対策等として防護柵を設置

## 2 ともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）

- ① 子ども・子育て支援新制度関連 193千円(3,805千円)
- ◎ ・養育支援訪問事業費 10千円(420千円)  
児童の養育について、保護者を支援することが特に必要な家庭に対し、養育に関する相談、指導、助言等及び育児・家事援助を実施
- ◎ ・新規参入施設等巡回支援事業費 87千円(90千円)  
小規模保育事業所の円滑な施設運営のため、相談・助言や実地支援等を実施
- ◎ ・実費徴収に係る補足給付事業費 96千円(3,295千円)  
生活保護世帯等を対象に、日用品、文房具等の購入に要する費用の一部を補助
- ② 市立保育所保育環境整備事業費 6,978千円(7,377千円)  
電源立地地域対策交付金を活用して、市立保育所(最上、手宮、赤岩)の保育環境を整備
- ・スタッキングベッド及び遊具等を購入
  - ・床材張替え等の施設改修
- ③ ふれあいパス事業費 154,372千円(166,000千円)  
70歳以上の市民を対象に「ふれあいパス」(バス乗車証又はJR特殊乗車券)

を交付。事業対象者の利用実態などを把握するため、利用実態等調査を実施

- ④ 介護予防・生活支援サービス事業費 37,035千円(45,924千円)
- ◎ ・訪問型サービス費 10,796千円(13,086千円)
- ◎ ・通所型サービス費 26,239千円(32,838千円)  
全国一律の「保険給付」から、市町村の実情に応じて実施する「地域支援事業」に移行
- ⑤ 地域介護・福祉空間整備等交付金 4,509千円(4,509千円)  
介護サービス事業者の介護ロボット導入費用の一部を助成
- ⑥ 介護サービス提供基盤等整備事業費交付金 213,880千円(213,880千円)  
介護療養型医療施設の特別養護老人ホームへの転換を図るため、施設の整備費用の一部を助成
- ⑦ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費
- ・在宅医療・介護連携推進事業費 1,500千円(2,000千円)  
市が主体となり地域医師会等と連携し、地域の医療・介護サービス資源の把握や地域住民への普及啓発等の取組を実施
- ◎ ・認知症総合支援事業費 200千円(460千円)  
認知症専門医と保健師等の専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を設置
- ◎ ・生活支援体制整備事業費 50千円(2,786千円)  
生活支援コーディネーター(第2層)の配置及びNPO、企業、ボランティア等による「定期的な情報共有・連携強化の場」としての協議体を設置
- ◎⑧ 障害者計画策定経費 1,040千円(1,533千円)  
障害者のための施策に関する基本的な計画を策定(計画期間:平成29～38年度)

- ☆⑨ 各種予防接種費 226,822千円(260,000千円)  
 平成28年4月から日本脳炎の予防接種を北海道においても定期接種として実施。また、平成28年10月からB型肝炎予防接種が定期接種化された。

### 3 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）

- ① 配水管整備、改良工事、導・送水管整備、消火栓整備 765,494千円(870,570千円)
- ・配水管整備（市内一円配水管布設 L=4,863m） 324,161千円(396,282千円)
  - ・改良工事（中区配水池築造工事ほか） 366,340千円(395,416千円)  
 （改良工事の予算現額のうち14,000千円は平成29年度へ繰越）
  - ・導・送水管整備（勝納水管橋更新工事ほか） 73,503千円(77,316千円)
  - ・消火栓整備（1基新設） 1,490千円(1,556千円)
- ② 污水管・雨水管整備及びポンプ場・処理場設備の更新 797,081千円(1,103,454千円)
- ・污水管整備（中央1の1号幹線污水管改築工事ほか） 367,639千円(482,371千円)  
 （うち101,628千円(107,300千円)は平成27年度から繰越）
  - ・雨水管整備（熊碓第2排水区雨水渠築造工事） 62,120千円(72,000千円)
  - ・ポンプ場設備の更新（張碓第1污水中継ポンプ場機械設備工事ほか） 7,505千円(22,725千円)  
 （ポンプ場設備の更新の予算現額のうち8,000千円は平成29年度へ繰越）
  - ・処理場設備の更新（中央下水終末処理場電気設備工事ほか） 359,817千円(526,358千円)  
 （処理場設備の更新の予算現額のうち20,000千円は平成29年度へ繰越）
- ③ 臨時市道整備事業費 324,100千円(333,208千円)  
 市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施

- ・平成28年度整備実施 20路線

- ④ 橋りょう長寿命化事業費 96,542千円(139,383千円)  
 （うち64,682千円(66,579千円)は平成27年度から繰越）  
 「小樽市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕等を計画的に実施
- ・塗装塗替等 銭函高架橋ほか1橋
  - ・調査設計 銭函高架橋ほか3橋
- ⑤ 道路ストック更新事業費 21,840千円(72,000千円)  
 老朽化が進む道路ストック(道路トンネル、舗装、道路附属物、のり面盛土擁壁等)を「小樽市道路ストック修繕更新計画」に基づき修繕・更新
- ・高商通線(舗装修繕)ほか
- ⑥ ロードヒーティング更新事業費 39,950千円(107,411千円)  
 老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
- ・かもめが丘団地幹線ほか1路線
- ◎⑦ 銭函高架橋耐震化事業費 60,005千円(60,696千円)  
 落橋防止装置の設置及び橋脚の補強等耐震化を実施
- ・平成28年度 第1～14径間(耐震補強設計)
- ◎⑧ 道路法定点検事業費 42,450千円(62,400千円)  
 市が管理する道路施設について、道路法に基づき近接目視による定期点検を実施
- ・平成28年度 橋りょう67橋
- ⑨ 建設機械整備費 32,940千円(42,000千円)  
 安定的な除雪体制の確保を目的に、除排雪機械を計画的に更新



- ・ロータリ除雪車1台更新

- ⑩ 旧国鉄手宮線整備事業費 35,546千円(36,000千円)  
観光客の回遊性向上や時間消費型観光を促進するため、新たな観光資源として整備（平成25～28年度）  
・平成28年度 手宮仲通線～手宮川通線 L=147m
- ⑪ (仮称)北海道新幹線新駅周辺まちづくり計画策定事業費 7,421千円(8,000千円)  
天神2丁目に設置される新幹線新駅の周辺整備などの指針となるまちづくり計画を策定（平成26～28年度）  
・平成28年度 整備手法の検討、二次交通対策、ソフト対策、全体計画案のとりまとめなど
- ⑫ 高速道路周辺道路整備事業費 41,828千円(44,831千円)  
北海道横断自動車道余市小樽間の開通に伴い発生する交通の増加に対応する道路の整備
- ⑬ (仮称)消防署オタモイ出張所建設事業費 337,659千円(352,493千円)  
「小樽市消防長期構想」に基づき、消防署長橋出張所と塩谷出張所を統合した新庁舎を建設  
・平成26年度 旧学校給食オタモイ共同調理場跡地（国有地）の購入  
既存建物の解体工事、基本設計  
・平成27年度 実施設計及び地質調査  
・平成28年度 新庁舎建設工事、供用開始
- ⑭ 機動力増強・近代化事業費 83,432千円(86,000千円)  
銭函支署及び朝里出張所に配置している消防ポンプ自動車を更新整備

- ⑮ 救急業務高度化推進事業費 26,367千円(33,000千円)  
塩谷出張所(オタモイ支署)に配備する高規格救急自動車を更新整備

#### 4 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）

- ① 日本海漁業振興緊急対策事業費補助金 1,661千円(2,250千円)  
小樽市漁業協同組合が実施する放流用の稚ナマコ種苗生産事業に対する補助
- ◎② 水産多面的機能発揮対策事業費負担金 537千円(537千円)  
「小樽海っ子倶楽部」が行う藻場の保全等の水産資源の維持増大や資源管理型漁業の推進に関する事業費の一部を負担
- ③ 活力ある商店街づくり推進事業費  
・にぎわう商店街づくり支援事業費 4,778千円(4,800千円)  
小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街等が、中心市街地活性化に寄与するために独自に企画、実施する活性化事業に助成  
〔助成額〕 事業費の1/2(限度額600千円)  
・商店街活性化支援事業費 1,793千円(1,936千円)  
活力ある商店街等の形成を図るための事業を実施する団体へ助成  
〔助成額〕 事業費の1/2  
事業費1,000千円未満(限度額100千円)、事業費1,000千円以上(限度額200千円)  
・空き店舗対策支援事業費 308千円(308千円)  
既存事業者の経営安定化と商店街等の空き店舗解消を目的に店舗家賃の一部を助成  
〔対象となる商店街等〕 小樽市商店街振興組合連合会に加盟する14商店街及び小樽市場連合会に加盟する9市場  
〔助成額〕 家賃の1/2(限度額50千円)×6か月

- ④ 潮まつり実行委員会補助金 7,700千円(7,700千円)  
 平成28年度は第50回の記念開催となるため、ねりこみを中心としたにぎわいづくりを増強するとともに、安全な運営を図るため警備などの体制を強化
- ◎⑤ 観光基本計画策定経費 1,987千円(2,000千円)  
 市民、観光関連団体、行政が一体となった観光振興の推進体制を確立することを目的に、平成29年度から10年間の計画期間とする「第2次小樽観光基本計画」を策定
- ⑥ (港湾施設)国直轄工事費負担金 203,106千円(305,000千円)
- ・北防波堤改良事業費 1,497千円(15,000千円)  
 老朽化した防波堤の改良による施設の延命化
    - ・平成27年度まで 根固工(L=551m/港外)、被覆工(L=32m/港外、L=675m/港内)
    - ・平成28年度 根固工(L=16.1m/港外)
  - ※国直轄事業 平成28年度全体事業費 10,000千円  
 (うち市負担1.5/10=1,500千円、前年度精算還付金=3千円)
  - ・第3号ふ頭岸壁改良事業費 201,609千円(290,000千円)  
 第3号ふ頭及び周辺再開発事業の一環として老朽化が進んでいる16番岸壁を改良
    - ・平成26年度 調査・設計
    - ・平成27年度 撤去工(L=114m)、陸上地盤改良工(L=6m)
    - ・平成28年度 陸上地盤改良工(L=188m)、海上地盤改良工(L=75m)、撤去工(L=80m)
  - ※国直轄事業 平成28年度全体事業費 600,900千円  
 (うち市負担1/3=200,300千円、前年度精算追徴金=1,309千円)
- ⑦ 港湾改修事業費 56,158千円(74,030千円)
- ・臨港道路改良事業費 25,099千円(42,800千円)
- 円滑な交通確保と安全性の向上を図るため、臨港道路の舗装の補修を実施(平成27～31年度)
- ・平成28年度 小樽港縦貫線 舗装改良(L=490m)
- ◎ 港内泊地しゅんせつ事業費 9,861千円(10,000千円)  
 土砂などの堆積により浅くなった岸壁前面泊地の必要な水深確保のため、しゅんせつを実施(平成25年～28年度)
- ・平成28年度 第3号ふ頭13番岸壁、14番岸壁 掘削(V=260m<sup>3</sup>)
- ◎ 第2号ふ頭岸壁改良事業費 7,498千円(7,500千円)  
 外航船の係留施設を確保するため、老朽化したエプロン舗装や附帯施設を改良(平成27～32年度)
- ・平成28年度 上部コンクリート工(L=17m)、アスファルト舗装工(A=144m<sup>2</sup>)
- ◎ 運河1期護岸改良事業費 13,700千円(13,730千円)  
 護岸の崩落による近隣建物や船舶への影響を防止し、景観の保持を図るため護岸を改良
- ・第1期運河護岸 護岸改修(L=13.3m)
- ⑧ 港湾計画改訂事業費 5,552千円(6,000千円)  
 小樽港を取り巻く諸情勢の変化に対応した港の開発、利用及び保全の方針を定めるため、港湾計画を改訂(平成24年～29年度)
- ◎⑨ 小樽港港湾BCP策定事業費 3,361千円(3,700千円)  
 自然災害や大事故などの危機的事象が発生しても小樽港の重要機能が最低限維持できるよう、危機的事象の発生後に行う具体的な対応などを示す計画を策定
- ⑩ 姉妹都市提携委員会交付金 3,150千円(3,150千円)  
 ナホトカ市姉妹都市提携50周年記念事業や、江西区青少年交流団歓迎事業などを実施

## 5 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）

- ① 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,459,310千円(1,459,310千円)  
北しりべし廃棄物処理広域連合（小樽市、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村）によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費
- ◎② 廃棄物最終処分場生活環境影響調査業務委託料 7,668千円(8,600千円)  
一般会計7,131千円(7,998千円)、特別会計537千円(602千円)  
現処分場のかさ上げによる延命のため埋立計画に必要な生活環境影響調査を実施
- ③ 都市公園安全・安心事業費 27,895千円(58,800千円)  
老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を計画的に進め、公園利用者の安全・安心を確保  
・平成28年度 遊具の更新(末広公園ほか1公園)、  
トイレ等のバリアフリー化(入船公園)
- ④ 小樽公園再整備事業費 58,248千円(90,702千円)  
明治26年開園の小樽公園を再整備（平成25～31年度）  
・平成28年度 見晴台、園路の整備

## B【その他の施策】

- ◎① 総合計画策定関係経費 1,121千円(2,400千円)  
「第6次総合計画」の計画期間が平成30年度までであることから、次期総合計画策定に向けた取組を開始  
・平成28年度 市民等意向調査
- ◎② 行政評価関係経費 84千円(125千円)

市政運営に対する市民の視点による点検、意見反映を進めるため、新たに施策に係る評価を試行として実施し、評価の過程に市民参加の場面を導入

- ◎③ 総合戦略推進事業費 65千円(100千円)  
引き続き「小樽市人口対策会議」を設置し、平成27年10月末に策定した「小樽市総合戦略」基本目標の管理と、総合戦略を効果的に推進
- ④ 社会保障・税番号制度システム整備事業費 29,113千円(39,534千円)  
社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に対応するためのシステムを整備
- ⑤ 公共施設等総合管理計画策定事業費 9,093千円(9,264千円)  
公共施設等総合管理計画を策定するため、基本方針の検討、計画の取りまとめ及び市民アンケートや職員研修等を実施
- ☆⑥ 生活困窮者自立相談支援事業費 17,961千円(17,999千円)  
就労その他の自立に関する相談支援や自立支援計画の作成(相談支援員を1名増員)
- ◎⑦ 参議院議員通常選挙費 41,362千円(46,540千円)  
平成28年7月10日執行。期日前・不在者投票所を2か所増設  
(塩谷サービスセンター、銭函市民センターでそれぞれ2日間開設)
- ⑧ 臨時福祉給付金給付事業費 416,070千円(691,000千円)  
うち経済対策分 311,647千円(552,000千円)  
(予算現額のうち経済対策分238,500千円は平成29年度へ繰越)  
消費税率引上げによる影響を緩和するための低所得者に対する簡素な給付措置  
〔対象者〕平成28年度市民税(均等割)が課税されていない方

(市民税(均等割)が課税されている方の扶養親族及び生活保護被保護者等を除く)

[支給額] ・平成28年10月から平成29年3月までの分

対象者1人につき3千円

・平成29年4月から平成31年9月までの分(経済対策分)

対象者1人につき1万5千円

◎⑨ 年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費 652,789千円(779,300千円)

「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低年金受給者に対する給付措置

・低所得の障害・遺族基礎年金受給者分 36,693千円(92,700千円)

[対象者] 平成28年度の臨時福祉給付金の支給対象者のうち65歳未満の障害基礎年金又は遺族基礎年金を受給している方(低所得の高齢者分を受給した方を除く。)

[支給額] 対象者1人につき3万円

・低所得の高齢者分\* 616,096千円(686,600千円)

[対象者] 平成27年度の臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上になる方

[支給額] 対象者1人につき3万円

## <国の経済対策関連事業>

《国の補正予算関連》

□ 「未来への投資を実現する経済対策」(平成28年8月2日閣議決定)を受けて、国の補正予算で措置された「地方創生拠点整備交付金」について、以下の事業に活用

(全額を平成29年度へ繰越)

・建築ストック・リノベーションまちづくり事業費 一千万円(41,270千円)